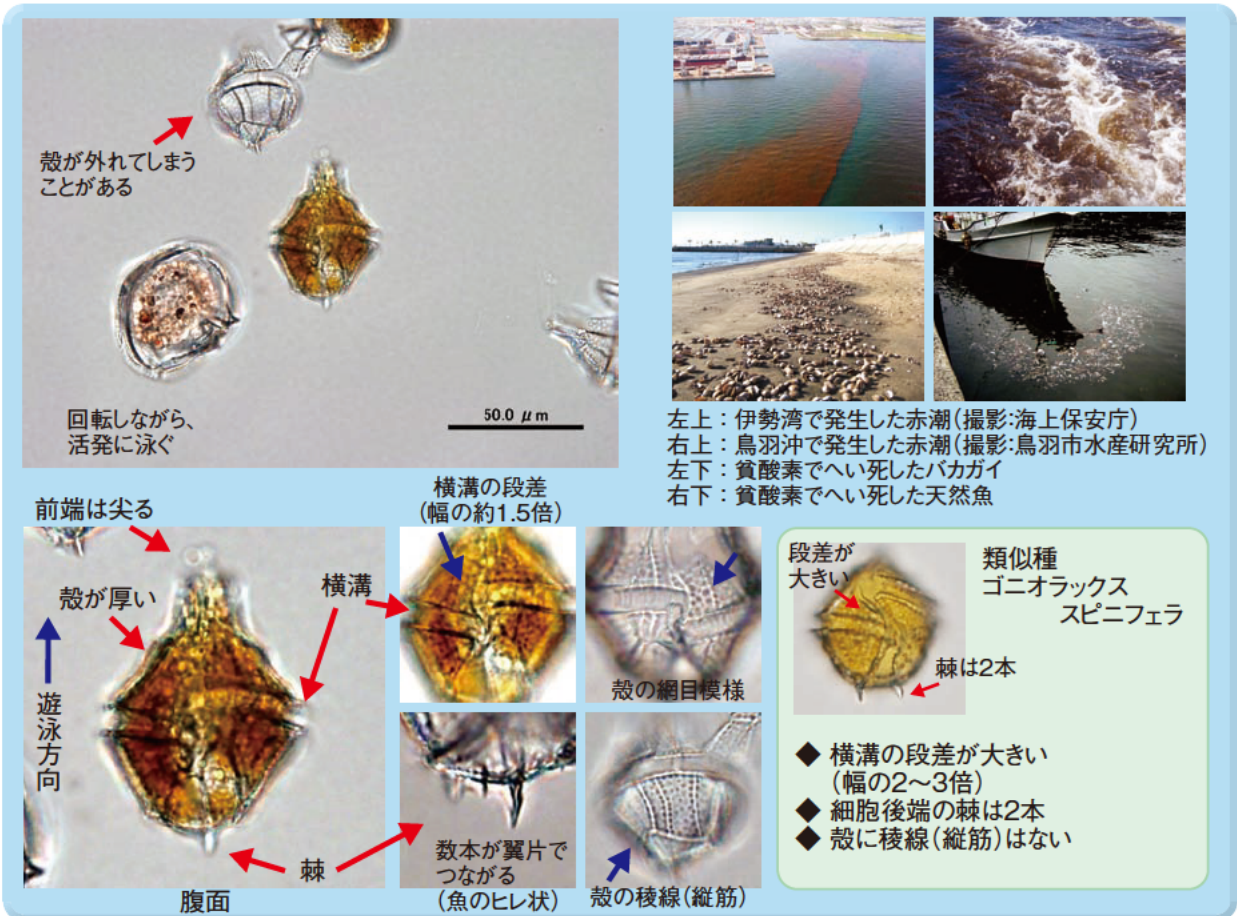


ゴニオラックス ポリグラマ(渦鞭毛藻)

(*Gonyaulax polygramma*)

動画



大きさ 長さ35~66μm、幅26~56μm

形態 色は濃い茶褐色。細胞の前端は尖り、後端は丸い。後端には、数本の短い棘があり、翼片(よくへん)によって魚のヒレ状につながっている。横溝の段差は、幅の約1.5倍。殻は厚く、表面の網目模様と縦方向に走る稜線(りょうせん)が特徴的である。類似種のゴニオラックス スピニフェラ(*Gonyaulax spinifera*)とは、横溝の段差、後端の棘、殻の表面構造などで区別できる。

動き 回転しながら、活発に泳ぐ。

その他 夜間は刺激によって青白い光を発する

漁業への影響：赤潮は長期化、広域化する傾向があり、伊勢湾~熊野灘にかけて大規模な赤潮を形成することがある。赤潮になると、貧酸素化を引き起こして、魚介類を大量へい死させる代表的な種である。

漁業被害：平成19年に伊勢湾、的矢湾、英虞湾、五ヶ所湾などで赤潮が発生。的矢湾では貧酸素化によって蓄養中のマアジ(15,000尾)、アコヤガイ、ヒオウギなどがへい死する被害が発生した。

発生海域：伊勢湾~熊野灘沿岸

発生時期：8~10月頃(夏季~秋季)